

気候変動への対応

▶ 「DBJ環境格付」最高ランクの格付取得

株式会社日本政策投資銀行（DBJ）が実施する環境格付において、「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」という最高ランクの格付を取得しました。本格付においては、当社のサステナビリティ経営の実効性と事業との統合が評価され、特に以下の点が高い評価を得ました。



- 経営戦略と環境戦略を一体的に捉えたサステナビリティ経営の推進体制
- 省エネルギー活動や再生可能エネルギーの導入拡大等環境負荷低減に向けた実効的な取り組み
- 新たに創設したサステナブル対応製品の展開による環境価値創出と事業競争力の両立

当社は、本評価を重要な外部評価の一つとして受け止めるとともに、環境課題への対応を企業価値向上の重要なドライバーとして位置付けています。今後は、これらの取り組みを一層高度化し、環境負荷低減と事業成長の両立を図ること、持続的な価値創造および気候変動への対応を推進してまいります。

▶ 指標と目標

当社グループの温室効果ガス排出量の削減目標達成に向けた取り組み状況は下記のとおりになります。

2030年	温室効果ガス排出量50%削減(2013年度対比・Scope1、2) サステナブル対応製品売上高比率50%超
2050年	カーボンニュートラル実現

単位:t-CO ₂		2013年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
温室効果ガス排出量		—	184,859	181,209	178,742	177,688	189,194
	(Scope1、2計)	21,661	17,755	17,061	15,940	16,448	15,969
	(Scope3計)	—	167,104	164,148	162,802	161,240	173,224
Scope1、2削減率(2013年度比)		—	△18.0%	△21.2%	△26.4%	△24.1%	△26.3%
サステナブル対応製品 売上高比率実績推移		—	—	—	23.5%	23.8%	24.6%

対象組織:当社国内グループ

詳細はWEBサイトでご確認ください。

▶▶ サステナビリティ

